

ユナイテッドトヨタ熊本 R325 店

熊本県菊池郡大津町

設計・監理／セルアーキテクト

施工／増永・肥後木村建設工事共同企業体



南西側外観



西側外観 滲岩石、カーテンウォールやタイルなど様々な素材を使用し、見る速度や角度によって表情を変えている

地域の「共創」を灯すロードサイドの旗艦店 ユナイテッドトヨタ熊本 R325店の挑戦

熊本県菊池郡大津町はセミコンテクノパークとして、ソニー、東京エレクトロンに加え、世界的半導体メーカーTSMCの進出で技術集積地としての存在感を急速に高めている。従来のカーディーラーの枠組みを乗り越え、「価値体験型NEWストア」という新たなコンセプトを体現したのが「ユナイテッドトヨタ熊本 R325店」である。ユナイテッドトヨタ熊本が目指すのは、モビリティ、エネルギー、コミュニティが交差する「MECハブ」の具現化である。

— ロードサイドの景観と地域性の融合 —

本店舗は、朝夕の渋滞時と閑散時で交通量が大きく変動する国道325号沿いのロードサイド店舗として、リニアな敷地形状を最大限に活かした約73mの長い間口をもつ建築で

ある。単調で巨大な「壁」となることを避けるため、外壁には阿蘇のカルデラをイメージした溶岩石をはじめ、カーテンウォールやタイルなど様々な素材を使用し、開口部や壁面のバランスを緻密に調整することで、見る速度や角度によって表情を変えている。開口部に設置されたイスタークーテンの開閉操作で、凹凸のある建物形状による外部、半外部、内部が混ざり合う境界を、使い方に応じて反転するかのような空間構成を実現している。

— 機能性の向上と洗練されたデザイン —

本店舗は、来訪者や地域住民はもとより、ここで働くスタッフの快適性にも注力している。整備工場はシートシャッターで室内化して空調を導入し、作業環境を大幅に向上している。さらに、外部における整備車両やお客様車両の動線は切り返しのない一筆書きの動線と

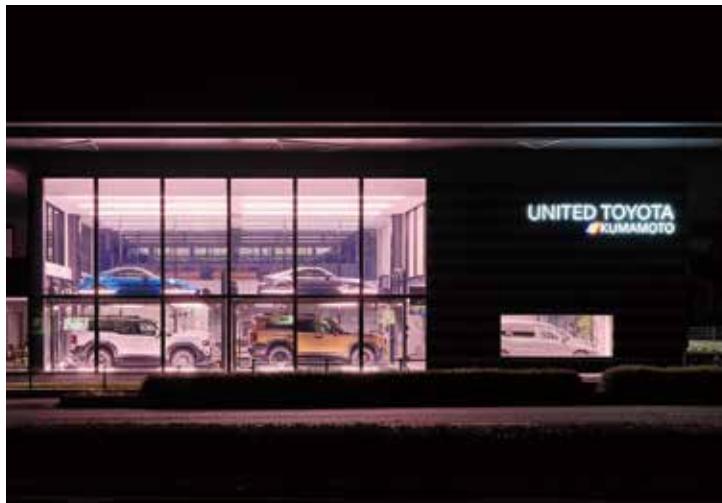
なっており、安全で効率的かつ快適な計画としている。

展示空間は、鉄骨造による大スパンと吹抜の高い天井、天井高さを抑えた商談室が相まって、流動的で開放的な空間が作られている。これにより、多様な車両展示やイベント利用、さらには防災拠点としても機能するなど自由度の高い空間を実現している。

デザインディテールにおいても、地域への配慮とブランドアイデンティティに対する仕掛けが隠されている。受付カウンターはコーポレートカラーのオレンジとブルーを取り入れたBEALSTON®(人造石研ぎ出し)で仕上げ、目を引くアクセントとして機能している。また、無機質な建物と対比して、お客様には地域の材質を使用した造作家具で温かみのある触感を与えていている。



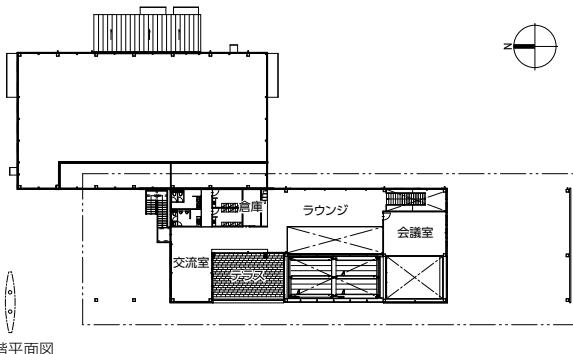
上／商談室 下／玄関吹抜



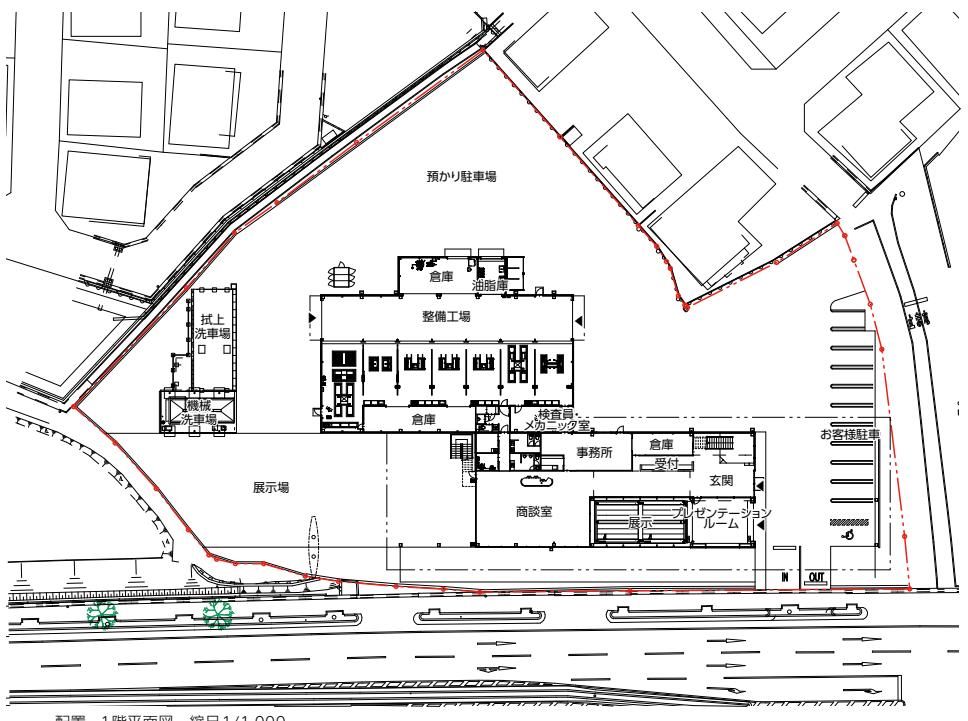
立体車両展示装置「Stageview」 外観夜景



車両の色や形に合わせた照明演出が可能



2階平面図



配置・1階平面図 縮尺1/1,000



商談室ドリンクカウンター



イベントの様子

— Stageviewと知的な交流のハブ

店舗の顔となるのが、パレット式駐車技術を応用した立体車両展示装置「Stageview（ステージビュー）」である。このパレット式ショーケースと“Sync”（調光調色技術）を組み合わせ車両の色や形に合わせた照明演出が可能にし、夜間においても圧倒的な存在感を放つ。納車時の特別な演出はもちろん、今後、地域のイベントや多様な展示における「ステージ」としての活躍も期待されている。さらに、本店舗は「Community hub」としての役割を担う。2階の地域交流室は、半導体関連の国際的なビジネスパーソンや地域住民が集う場所として設計され、コワーキング機能や遠隔地との交流の場を提供する。来訪者が気軽に利用できるドリンクコーナーの設置も、滞在を促すための細やかな工夫である。

ユナイテッドトヨタ熊本 R325店は、TSMC進出に象徴される産業の変化を捉え、ロードサイド店舗という日常的な建築を、地域性、技術、そして人々の交流を結びつけるプラットフォームへと再定義し、大津町の新たなランドマークとしての役割を担っている。

(上野瑞樹／セルアーキテクト)



山室 昌敬……やまもろ まさたか
1971年熊本県生まれ。1995年熊本工業大学建築学科卒業、同年中川建築設計事務所入社、2006年代表取締役就任。2016年セルアーキテクトに社名変更



上野 瑞樹……うえの みづき
1973年宮崎県生まれ。1996年熊本工業大学建築学科卒業、2010年中川建築設計事務所（現セルアーキテクト）入社。現在、同社取締役常務



銀田 ひかり……くわた ひかり
1998年熊本県生まれ。2023年崇城大学大学院工学研究科修士課程修了、同年セルアーキテクト入社。

施工計画

本プロジェクトは、新生シリコンアイランド九州の中心地の幹線道路沿いに位置し、2店舗を合併して大型新店舗を中心地に配置する計画である。3月店舗オープンの工程を厳守するため、造成開発工事の中盤から建物基礎工事を並行して着工した。柱状地盤改良杭打機や造成の泥搬入ダン

ブなどの大型重機同士の作業エリアの調整を細微に行なうことで、工程管理および安全管理の確保に努めた。

鉄骨の最終仕上げは、整備工場エリアは梁も全て現しで、ショールームエリアも本柱は基本現し仕上げであった。ファサードの大屋根は幅65.5mとなるため、鉄骨の建ちや通りの精度確認を



初期基礎工事・造成開発工事施工状況



鉄骨建方状況

ユナイテッドトヨタ熊本 R325店 データ

所在地 熊本県菊池郡大津町室1515-2

主要用途 自動車販売・展示店舗・自動車修理工場

建築主 ユナイテッドトヨタ熊本株式会社

設計・監理 セルアーキテクト

担当／総括：山室昌敬 建築：上野瑞樹、鍵田ひかり

構造 裕建築事務所 担当／日高正弘、津川拓

設備 グリーン設計 担当／山下郁利、米澤優介

施工 増永・肥後木村建設工事共同企業体

担当／中川義則

設計期間 2023年8月～2024年4月

工事期間 2024年4月～2024年12月

【建築概要】

敷地面積 4,952.05m²

建築面積 1,925.09m²

延床面積 2,102.73m²

建ぺい率 38.88%（許容60%）

容積率 42.47%（許容200%）

構造規模 S造 地上2階

最高高さ 8.10m

軒高 7.75m

階高 3.40m

天井高さ 2.50m

客用通路幅員 3.50m

道路幅員 25.70m

駐車台数 12台

地域地区 準工業地域

【設備概要】

電気設備 受電方式／高圧受電6.6kV 変圧器容量／単相

100kVA、三相500kVA

空調設備 空調方式／空冷HPP方式 熱源／電気

衛生設備 給水／水道直結直式 給湯／局所式（電気給湯器）

排水／直放流下水管

防災設備 消火／消火器 排煙／自然排煙 その他／自動火災報知設備、非常警報設備、非常用照明、誘導灯

特殊設備 パレット式ショーケース

【主な外部仕上げ】

屋根 カラーガルバリウム鋼板 折板

外壁 金属製角波サイディング、窯業系サイディングの上
弹性塗材+溶岩石、アルミ製ガラスカーテンウォール、タ
イル貼

建具 アルミ製折れ戸・パネルシャッター、スチール製シャ
ッター

外構 磁器質タイル貼、アスファルト舗装

【主な内部仕上げ】

ショールーム 床／コンクリートの上水性スチーン塗装

壁／木毛セメント板 天井／ロックウール化粧吸音板

プレゼンテーションルーム 床／300×600タイル貼 壁



入念に行なうことで品質管理に配慮した。
建物内には日本初となるパレット式ショーケースを設置するため、基礎・鉄骨段階から干渉しないよう関係業者と協議し、施工を進めた。また、展示車両を見やすいように周囲のサッシ部材寸法を検討するなど、打合せを何度も重ねた。
関係者や協力会社の多大な協力により良い建物をつくることができた。地域のコミュニティの場を伴うモビリティー拠点になる建物に携われたことを、施工者として光栄に思う。（中川義則／増永組）



中川 義則……なかがわ よしのり
1977年生まれ。2000年熊本工業大学建築学科卒業、2012年増永組入社。現在、同社建築部所長職

／ビニルクロス貼 天井／ロックウール化粧吸音板
展示室 床／コンクリートの上防塵塗装 壁／FIXガラス
天井／ロックウール化粧吸音板
整備工場 床／塗り床 壁／ケイ酸カルシウム板の上EP-G塗装 天井／軸体现し

撮影／OFFICE SASAI 笹井 雅史